くも合戦

かじき広報

題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き
（64年1月1日現在）

総人口23,807人（＋17）	出生　16人
男　11,223人（＋10）	死亡　15人
女　12,584人（＋7）	転人 134人
世帯数 8,240　（＋19）	転出 118人

●（　）内は前月との比較●

受験シーズン

「この季節になると、毎晩遅くまで電気がついている家がいくつかあります。受験生の家なんですね」

神頼みも近年ますます盛んのようで、特に学問にゆかりのある天満宮などは、この季節には梅の花見をかねた参拝者でにぎわいます。

それにしても、受験生の家族の最大の心配は風邪でしょう。むやみに暖房を強め、かえってのどを痛めることもあります。

二月は省エネルギー月間。適正な温度で暖房を利用するなど工夫をしましょう。

エネルギーの使い過ぎは、無駄なばかりでなく、大気汚染にもつながります。

平成元年

2月号

今月のページ

▷「加治木町ふるさと便」の会員を募集中…2～3ページ
▷特集「市来原台地に水が来た」…4ページ　▷町成人式，婦人大会，「椋鳩十さんをしのんで」…5ページ
▷新成人の抱負…6～7ページ　▷まちのわだい…8ページ
▷さつま狂句，薬草，在宅医9ページ▷おしらせ…10ページ

●No. 412　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62－2111●

なつかしい味と香りをお届けします

会員の募集は２月末日まで

加治木町の町おこしの１つとして，多くのかたがたの参画を得て，町内で生産される農産品や海産物，特産品などを詰め合わせ“ふるさとの味と香り”をお届けする『加治木町ふるさと便』の会員募集が始まっています。

郷土出身のあの人へ，ふるさとを遠くはなれて暮らしている息子さんへ，他町へ嫁いだ娘さんへ……。

あなたもひとつ“ふるさと”を届けてみませんか。

ごあいさつ

〝歴史と文化〟の薫る町。

加治木町は、その残された多くの『文化と自然と人』のストックを活かして、今、21世紀へ大きく羽ばたこうとしています。

〝ふるさとに思いをはせる、あなた〟の手助けができたら……。そんな気持ちで『加治木町ふるさと便友の会』は誕生しました。

まごころをこめて選んだ品は、きっとあなたに〝ふるさとの良さ〟を伝えることでしょう。

御利用を心からお待ちしています。

会長（加治木町長）　宇都宮　明人

くも合戦の町 加治木町から

6月

- スイートコーン（10本）
- **キャロットジャム**（１本）
- 酢（900mℓ・１本）
- 加治木下駄

（広報紙）

12月

- 龍門司焼（夫婦ちゃわん）
- 味　噌
- さつまあげ
- **町の特産品（？）…お楽しみに…**
- 加治木まんじゅう（10個）

（広報紙）

なお、時期により多少内容が変わることもありますので御了承下さい。

《主　催》　加治木町役場・加治木町農業協同組合
加治木町商工会・錦海漁業協同組合
加治木町観光協会・加治木郵便局

加治木町ふるさと便友の会
《事務局》　〒899-52　鹿児島県姶良郡加治木町本町176
加治木郵便局内　☎0995-62-2413

●クモ合戦……6月の第3日曜日，福祉センターで行われます。

『あらっ』と おっしゃる顔が 目に浮かびます。

会費 年間 15,000円

申込み締切 平成元年2月末まで

発送 年4回

お申し込み方法

町内の方は 会費15,000円を，「受取人及び差出人の住所・氏名」に添えて，次のところにお申し込みください。

- 加治木町役場経済課
- 加治木町農業協同組合
- 加治木町商工会
- 錦海漁業協同組合
- 加治木郵便局

町外の方は 会費15,000円を，同封の振替用紙に「受取人及び差出人の住所・氏名」を記入し，お近くの郵便局で振り込んでください。

〔郵便振替口座　鹿児島3－666〕

発送月によって受取人を変えられてもかまいません。

その場合，お申し込みの際，月毎に「受取人の住所・氏名」を御記入ください。

3月

- ハウストマト（2kg）
- 生のり（130g・4袋）
- あく巻（2本）
- あじの干物（4匹）
- **町の特産品（？）…お楽しみに…**
- 加治木まんじゅう（10個）

（広報紙）

9月

- からいも（5kg）
- **りんご**（1kg）…永原でとれたもの
- 栗（1kg）
- カットわかめ（250g）
- つけもの（詰め合わせ）

（広報紙）

◎生産者の御協力により，卸値程度で詰め合わせいたしました。

特集

市来原台地に水が来た

畑かん水利用管理組合を結成

市来原地区

小山田の市来原台地二十四㌶余りを潤おす〝恵みの水〟が、一月二十四日試験通水され、地元の人をはじめ宇都宮町長、加治木耕地事務所長、十三塚原土地改良区の職員など関係者が集まり「市来原畑かん水利用管理組合」の結成式と散水実演が行われました。

「畑かん水利用管理組合」は、溝辺町の竹山ダムから給水される畑地かんがい用水の効率的な利用を図るため結成されたもので、市来原地区水利用管理組合長に大山茂さんが、また、副組合長に市来原秀義さんが選出されました。

結成式では、十三塚原土地改良区の第二理事である宇都宮町長から大山茂組合長に、散水器具一式が貸与されました。

宇都宮町長は「市来原は最初の通水区域で、これから西浦、楠原と順次通水されますが、ぜひ、模範となっていただきたいと思います。厳しい農業事情ではありますが、営農に期待しています」とお祝いの言葉を述べました。

大山茂組合長は「この地区は畜産が主ですが、それも夏場は干害のため大変でした。待望の水が来ましたし、今後は地元の人たちと協力し、売れるものを作ってゆきたい」と決意を語りました。

この後、スプリンクラーを使った散水実演が行われ、大山組合長の合図で勢いよく水が飛び出すと集まった人たちから盛んな拍手が沸いていました。

待望の〝水〟が飛び散る

竹山ダムから給水

市来原台地に給水される水は、鹿児島空港周辺の畑台地（十三塚原）八百七十七㌶の畑地かんがいを目的として、昭和五十年度から県が溝辺町竹山に建設を進めていた「竹山ダム」（六十二年五月完成）から送られたものです。

竹山ダムは、割石を丹念に積み上げた傾斜コア型ロックフィルダムといわれるもので、ダムの高さは五四・五㍍、ダムの上部の幅は八㍍、長さ百六十三㍍で、総貯水量は二百二十万七千立方㍍です。

このダムに貯水された水は、近くの横峯山山頂に築られた調整池（貯水量二万七千五百立方㍍）に揚水機で百七十八㍍余り揚水し、ここから自然流下方式によって配水され、十三塚原の八百七十七㌶を潤す、文字どおり〝恵みの水〟として活用されます。

竹山ダム

手軽に使える〝水〟

散水器具一式を貸与

二百三十八人が大人の仲間入り

町成人式

大人の仲間入りをした二百三十八人の新成人を祝い、励ます町成人式が一月十五日、福祉センターで開催されました。

この日は、スライドで〝はたちの歩み〟を振り返った後、新成人の川添克夫さんと冨宿晴之さん、田丸三千代さん、寶藏加代子さんによって点火された友情・青春・信頼・奉仕のともしびを前に、全員が〝成人の誓い〟をたてました。

式典では、教育委員会の山口庶務課長が「情報を的確に取捨選択し、処理できる広い知性と感性を磨いてください。郷土加治木の町をおこす原動力こそ、皆さんの燃えるエネルギーが必要なのです」と式辞を述べ、また、宇都宮町長が「今日からは、皆さん一人一人が若々しい情熱をいかんなく発揮し、立派な新成人として活躍してくださるよう期待しています」と新成人を激励しました。

この後、白濱諭さんをはじめ四人の新成人による力強い〝はたちの抱負〟の発表や、町文化協会の都山流尺八始琳会と生田流琴歌寿紗会、若菜会、初音会の方々のすばらしい演奏が披露され、出席した新成人は大人の仲間入りをした感激と喜びに浸っていました。

また、新成人代表の長山浩子さんから町に贈られた〝桜の木〟は高岡公園に植えられました。

キャンドルを囲んで

婦人の手で美しい町づくりを

第10回 町婦人大会

〝婦人の手で美しい町づくりを〟をテーマに各種婦人団体の連携を深め、家庭・地域の生活向上のあり方を考えようと、第十回町婦人大会が一月二十六日三百人余りが参加して、福祉センターで開催されました。

大会では、ゴミをテーマに進めてきたこの一年の活動をスライドで振り返った後、全体会が行われ「ボランティア活動に取り組み、美しい町づくりに努めます」など六項目の大会宣言を採択しました。

また、長田中学校の川井田稔校長が「人づくり町づくり」と題し「二十一世紀を生きぬく人づくり街づくりには、情報処理能力を身につけることも大切です」などとユーモアを交じえて講演し、参加者は熱心に聞き入っていました。

標語の入賞者

坂本モリ子さんが最優秀賞

大会では、町民から募集した〝省ゴミ、ゴミステーションに関する標語〟の表彰も行われました。

受賞者は、次のかたがたです。

▽最優秀賞…坂本モリ子さん
作品『生ゴミは水切りしっかり
その朝に』

▽優秀賞…鹿倉友子さん
松田道子さん、上村正子さん

▽特別賞…坂本のりひこさん

椋鳩十さんをしのんで

＜第2回＞

茨城大学名誉教授
解釈学会会長
山口　正

平成元年になって最初に書く原稿が、この椋さん追慕の文章です。不思議な縁で結ばれた椋さんは、これから故郷思慕の一念と重なり合って、ますます、私の心の中で大きな存在となってゆくことでありましょう。

さて、動物文学者といわれるくらいに、椋さんの作品は動物の話が多いのです。山国で育ち奄美大島で野生の動物たちとの交流を重ねるという体験から、作品の大部分が動物愛・自然愛で貫かれ、美しいヒューマニズムの精神で光ったものばかり。

作品の面白さについては、これから逐次書かせてもらいますけれど、もう少し私が親近感を覚え始めた由来ばなしを語ることとしましょう。

昭和八年四月、私は大学を出てすぐ東京の海城中学という私立の学園の教師となり、先輩に当たる西尾実という偉い先生の知遇を得たのです。

岩波書店の教科書編集を担当しておられた西尾先生のお手伝いをしているうちに、「僕の郷里へ行ってくれませんか」と頼まれて、長野県へ移りました。

長野県飯田中学校へ赴任してみると、文字通りの山紫水明、人情もいい所で、なんとわが椋さんがその飯中の卒業生であることも分りました。昭和十年秋のことですから五十三年前の昔話なのですが、私は加治木高女の椋先生へお便りをしました。

四歳ぐらい年上で、既に山窩文学の新進作家であること、その人がわが郷里に教員として居住しておられると聞いて驚いたこと、そんなことから私は思い切ってファン・レターのような便りを書いたのです。

数年前帰省のついでに鹿児島へ行ったとき、佐藤八郎君と亡き小牧才二君とに案内されて、城山裏の西郷さん墓地に近いお宅を訪ねたのですが、椋さんは歓迎してくださり、楽しいひとときを過ごしたのでした。

親子読書の会の話から、私の親子作文の会の方へと、会談が発展したことなど、この場でも一度、追想の記として書いておかねばなりますまい。

の抱負

上，４人の方がたちの抱負”を，り一部省略して

白濱　諭さん

渋谷友美さん

新鮮な気持ちで臨む姿勢を

白濱　諭さん（竹下）

私は、昨年の四月に既に二十歳を迎えており、その時はそれほど心境に変化はありませんでしたが今日、この場において、身の引き締まるような思いで一杯です。

既に社会に出て活躍されている方がこの同席者の中にも大勢いるものと思いますが、私は鹿児島大学に入学して二年目の学生です。

小学校の教師を目指す一方で、高校から始めた陸上競技を今でも続けています。ただ走るだけの競技と思われがちですが、高校時代に体験した二度の九州大会と、大学での九州インカレという、大きな大会に出場することによって、私自身の視野は随分と拡がったように思います。そこには、今までに知らなかった世界があり、知らなかった選手がおり、私は、常に新鮮な気持ちで大会に臨み、交流を拡げ、そうすることによって人間としての自分を成長させてきたのではないか、と思っています。

私は、今から社会に出ていく身です。社会に出ることで、また新たな視野が拡がり、新鮮な気持ちで臨んでいく姿勢を、私は大切にしていこうと思っています。

人生は、よくマラソンに例えられます。つらい道のりが長く続き途中でざ折しそうになるのは度々でしょう。そんな時、マラソンでは道端で声援を送ってくれる人たちがいます。人生もしかり。人生は自分のもので、だれも手助けも身代わりもできません。そのかわり、周囲の人たちは、きっと声援を送ってくれるものと思います。その声援を背に、我々はまた奮起して頑張っていけるのではないでしょうか。

新成人の皆さん、我々は記念すべき平成元年に大人の仲間入りをするのです。今日の感動を忘れることなく、スタートも、そしてゴールも、個々人でまったく違う、競走相手のいないたった一人のマラソン・ロードではありますが、この晴れの成人式を期に、今一度気分を改め、共に努力精進していきましょう。そして、すれちがう他の人生のランナーたちにも声援を送り、励まし合っていきましょう。

己に厳しく他人に寛容でありたい

渋谷　友美さん（萩原）

平成元年の新しい時代を迎え、皆さまと共に今日、人生の新しい旅立ちともいえる成人式を迎えることが出来ましたことを、誠にうれしく思います。

このように、私どもが成人の日を迎えることが出来ましたのも、今日まで温かく見守り、励まして下さいました諸先生方並びに両親のお陰と、今、新たに深い感謝の気持ちで一杯です。

私たちは、社会の恩恵と自然の恵みを受けて生きています。

そこで、現在自分の置かれている立場や状況の下で、自分がいかにすべきか問うてみる時、日常物事を深く考えることなく他人と接しています。この何気ない気持ちにちょっとした気配りをと、自ら思うのです。

こうしたことが、人々の心をユニークにもさせ、また、ほのぼのとしたものにしてくれるのではないでしょうか。

もちろん、それぞれの立場によって対応の仕方がありますが、とにかく、対人関係は難しいもの。自分が善かれと思ってした事が必ずしも報いられるとは限りません。

町に記念樹を贈る

相手の思想が違えば、真意が全く通じないこともあります。

しかし「海より広いのは空であり、空より広いのは人間の心である」とビクトル・ユーゴの言葉にもありますように、誠実さはいつか通じると信じて、小さな思いやりを積み重ね、豊かな心が培えますよう努力したいと思います。

個々の小さな誠意が社会をも円満にするのではないでしょうか。

人間だれしも自分には弱いもの。私自身「己に厳しく他人に寛容でありたい」と思うのです。

しかし、まだまだ未熟者です。諸先輩方、今後とも御指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

新成人

町成人式の席
発表された“は
紙面の都合によ
掲載します。

永田　隆さん

池畑裕子さん

社会へ何らかの形で貢献を

永田　隆さん（中塩入）

激動の昭和が終わり、新しい時代平成を迎え、皆さんと共に新しい出発の一歩を踏み出すための成人の祝いの式を迎えることができたことを大変うれしく思います。

成人式というのは、人間が一人前の社会の構成員としての地位を獲得するに至ったことを社会的に承認する儀式です。

社会的に承認されると同時に多大な社会的責任が課せられ、期待も大きくなると思います。

その期待にこたえるべく、それぞれの分野について、最善を尽くして頑張り、私たち若者が、それぞれの立場から社会へ何らかの形で貢献することが私たちの最大の責任であると思います。

子供のころ、大人というのは自分で何でもできるうらやましい存在で、早く自分も大人になれたらいいと思っていました。

今、いよいよ自分がその年齢に達してみると、確かに自由に酒も飲め、たばこも吸え、自分の思うように行動することができますが自分一人で何でもできるものではないことに気付きました。

両親、兄弟、地域の人々、自分を取り巻く社会の人々の助けや協力がなければ、自分という存在はないことがわかり、感謝の気持ちで一杯です。

また、早いサイクルで変化していくこの社会において、ややもすると私たちは置いていかれるかもしれません。

そんな時に私たちは、焦りを感じるでしょう。

しかし、このような時代であるからこそ、私たちは立ち止まり、自分自身で考え、仲間と語り、試行錯誤しながら進んでゆこうとする、そんな余裕をもつことが、これからの時代を生きてゆく上で大事なことだと思います。

新成人に贈る祝福のしらべ

信念をもって教師という職業を追求

池畑　裕子さん（中塩入）

二十歳となっても、誕生日には何も考えませんでした。

ただ一つ年をとるという毎年のことと同じだったわけですが、今朝、振り袖を着てみると「成人式だ。もう二十歳なんだ」と、しみじみ感じました。こう思った方も多いのではないでしょうか。

今日はなんだか特別な気持ちがします。

私たちが生きたのは、たかが二十年。でも、されど二十年。

時代は変わってきています。

大行天皇崩御に伴い、年号も平成と改まりました。

天皇という日本の象徴は、私たちの年代ではほとんど実感がないのですが、昨年後半の自粛ムードで、学生にとっては大学祭に支障が出たり、その他様々な方面に影響が出たりし、改めて日本、そして天皇について考えさせられました。明治天皇崩御の時は、海外から「日本は立ち直れない」と言われるほど悲しんだ国民も、今や崩御により、テレビがセピア色になると、レンタルビデオ店が大繁盛というふうになりました。

こんな平成元年四月、私は中学の国語教師として社会に出ます。

教育という、いわば社会の土台造りに参加するわけですが、果たして私などに勤まるのでしょうか。

たぶん、人間、しかも子供相手の職業に不安や、自分の無力さに後悔を覚えることもあるでしょう。

ただ、子供のあらゆる個性を伸ばすためには、様々なタイプの教師が必要ですので、私は私なりの信念を持って、教師という職業を追求してゆきたいと思っています。

冬来たりなば春遠からじ。

私の好きな言葉です。冬、つらいこと、苦しいことがあっても、必ず春はやってくる。人生とは、そんなものではないでしょうか。

最後になりましたが、このように成長でき、この場に上がれましたことを皆様に感謝したいと思います。ありがとうございました。

まちのわだい

「火の用心，マッチ１本　火事の元」

●新中の子供たちが防火を呼びかける

「火の用心，マッチ１本火事の元」カチカチ……。

夜８時を過ぎるころ，新中自治会では，子供たちの“防火”を呼びかける声と拍子木の音が聞こえてきます。

これは，川野邦祐さん，久保薗大輔さん，黒木恵子さん，戎鳴美さん，黒木絢子さん，戎真一郎さん，戎真哉さんの７人が，４年前から始めているもので，今年も12月17日から毎晩続けており，地区民に喜ばれています。

“春栄号”馬踊りの特訓始まる

●木田地区青壮年会（２月５日）

春を呼ぶ鹿児島神宮の初午祭（３月５日）を前に，木田地区では２月５日から御神馬の特訓が始まりました。

今年出場する馬は，岩崎郷二さん所有の「春栄号」。木田の青壮年会員が，先を割った青竹を持ち，馬の足元をたたき雑音をたてながら，太鼓とカネの音，馬踊りの歌に合わせて，馬の四つ足がマンボのリズムを刻むようにする厳しい特訓を，毎日夕方続けています。

なくならないネ。ポイ**捨て**

●町衛生協会員が空き缶を清掃（１月23日）

町衛生協会の宮路義彦会長ら理事15人が１月23日，須崎と黒川の堤防の空き缶の清掃を行いました。

この日は，ゴミ袋を手に，堤防や草むらに投げ捨てられている空き缶を拾って歩きましたが，わずかの間に袋は一杯になり，軽トラック３台分にもなりました。

理事さん方は「いつまでたっても，空き缶のポイ捨てはなくならないネ」と話していました。

手作りの“みこし”が校庭を練り歩く

●第３回「加治木小の祭り」（１月28日）

３回目を迎えた「加治木小の祭り」が１月14日行われ，19の“手作りみこし”が校庭を練り歩きました。

これはふるさと学習の一環として毎年開催しているもので，今年のテーマは“みこし”。19のグループに分かれ，５～６年生が１～２年生を指導しながら，ダンボール箱や空き缶などを使って，クモ合戦や加治木まんじゅう，龍門滝など工夫をこらしたみこしを作りました。

河川愛護運動に貢献

田中自治会が知事表彰

自治会総ぐるみで河川愛護運動を進めている田中自治会（中山澄雄自治会長百七十五世帯）が一月三十日、県知事表彰を受賞されました。

これは、田中自治会が、子供からお年寄りまで総ぐるみで、年四回、網掛川の堤防の清掃や空き缶拾いなどを実施されており、長年、河川愛護活動に尽力されてきた功績が高く評価されたものです。

表彰式は一月三十日町長室で行われ、土木事務所長から中山自治会長に表彰状が手渡されました。

表彰を受ける中山自治会長

さつま狂句

▼兼題『飾』　榊牛尾先生選

天　飾い餅　血管の様な
　　皺っが入っ　満尾仙女
唱　とても包丁でな
　　切いどまないめ
地　天井迄い　飾いたくった
　　初商売　鮫島四男坊
唱　あの手この手ん
　　客寄せ手段
人　飾い窓　毛皮をちらっ
　　見て通っ　原口小烏
唱　買おち思てん
　　高根ん花で

▼席題『市』　榊牛尾先生選

天　お目当てが　有い訳ぢゃねが
　　市ちな出っ　佐藤蔵王嶽
唱　見いばっかいで
　　気が落着こで
地　初市の　賞品目標ん
　　夜中だっ　出水円月
唱　心うきうきして
　　出ばいやしつろ
人　師走市　値切易し夕方を
　　客が狙っ　長重天玄
唱　値切らにゃ損ち
　　言よな顔をして

（社会教育学級生の作品）

竜門句会

遊ぶ子を視線の端に毛糸編む　高木　正男
磯畑や海へなだるる野水仙　内田美津代
佗助の花落ち昭和遠ざかる　恒吉　斗南
暗がりに人声のして初詣　佐々木かすみ
寒の雨音なく昭和の幕を引く　川崎　黒兎
冬耕や熟睡の幼起すごと　鶴田　耕
噴煙も岳も茄子いろ冬入日　竹山　洋子
千拓地荒野と化して鶴の群　加藤　白柳
初夢や夫にも秘して厨事　古江　重美

薬草知られざる効き目 ⑥⑤

サルトリイバラ

北海道から九州、台湾・朝鮮半島・中国に広く分布し、山野の明るい所に生える雌雄異株の落葉つる性低木。葉柄の下部に付いた托葉の先が巻きひげになって、雑木などにからみつく。

茎に少し曲がったとげあり、猿がひっかかるのでサルトリイバラの名がつけられました。

西日本ではカカラの名があります。

春から初夏、葉えきに黄緑色の小さな花を散形花序につけ、秋から冬にかけ紅色の球形液果をつけます。

若葉と茎はひたし物・テンプラにして食用にでき、緑色の未熟果は塩漬けにして食べられます。鹿児島では若葉を使って「カカランだご」をつくります。

一～二月ごろ根茎を掘りとって水洗いし、こまかく切って天日で乾燥します。これを生薬で「和の山帰来」といい、解毒薬とします。民間では、淋病、膀胱炎、神経痛、リウマチなどに煎服、糖尿病にも運用するとよいといわれます。

できものやはれもの、特に膿に臭気のある場合、根を煎じて飲む。にきびに根とハブ茶をまぜてせんじ、一日数回飲む。しばらく飲用すれば効き目があるとされています。

むくみのときの利尿にも同様空腹時に服用します。膀胱炎・尿道炎には根20㌘を煎じて飲みます。

柔らかい葉はそのまま、堅い葉は蒸してから乾燥し、茶の代用として飲むと毒消しの効があるそうです。

さるとりの
まことやさしき
花もてる　みづほ

（筆者県民の森　上萩大治）

▽無断転載は、御遠慮下さい。

日曜在宅のお医者さん　3月

	在宅医	☎
5日	大川医院	⑫2032
12日	川畑医院	⑬1499
19日	鬼丸小児科	⑫0308
21日	松本医院	⑬1911
26日	玉利医院	⑫2328

おしらせ 1989 2

確定申告は正しく、お早めに

昭和六十三年分の所得税の確定申告は、二月十六日から三月十五日までです。

期限が間近かになりますと、相談会場は大変混雑し、長時間お待ちいただくようなことになりかねませんので、税務署から指定された相談日にはできるだけ出かけるなどして、確定申告は早めに済ませるようにしてください。

また、確定申告書は「申告書の書き方」や「所得税の確定申告の手引き」を参考にして、昨年一年間の所得と税額を正しく計算して記載し、お早めに申告と納税を行ってください。

▽「納税相談」は、三月九日から三月十五日まで、加治木税務署で実施されます。

春の全国火災予防運動

2月28日～3月13日

寒さが身にしみ込む季節になりました。何かと火を使うことの多いこの時期は、火災が発生しやすくなります。

二月二十八日から「春の全国火災予防運動」が始まります。

「その火　その時　すぐ始末」少しでも気になったら火の元を確かめる、こうした日ごろの努力が生命と財産を守ります。

〈火の用心7つのポイント〉

1. 寝たばこや，たばこの投げ捨てをしない。
2. 子供は，マッチやライターで遊ばせない。
3. 風の強いときは，たき火をしない。
4. 天ぷらを揚げるときは，その場を離れない。
5. 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
6. ふろの空だきをしない。
7. ストーブには，燃えやすいものを近づけない。

うぶ声

出生児　保護者　自治会

鷲　麻莉絵　正行　岩原東
内村　理恵　和行　春日団地
長位　良太　鎌二良　日木山黒川
沖園　怜美　謙二　赤坂
末廣　遼　完治　赤坂
二見　知孝　康洋　西江口団地
中尾　裕也　努　端山
上原　未緒　浩　上浜
讃井　雄基　伸一　岩原東
大川　朝子　俊哉　豊町
渡山さくら　良美　吉原
生駒　遼　克美　西江口団地
中間　智朗　良信　中福良後
西濱　裕喜　春一　中野
井上　未来　敬二　萩原
柳田　栄法　慶一　西江口団地
岩元　大地　清治　赤坂
堀田　志乃　哲哉　岩原西
西　久美子　晃　小烏
丸野　宏泰　行雄　空港団地
中原　千晴　孝　西塩入上
鮫島　嵩　誠　布越

▽一月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

三万円　辺川下　小宮路時良（父　鷹行七八）
三万円　上川内　上野実義（母ユキノ八五）
二万円　向江町　原口　壽（養母ハツエ九〇）
二万円　岩原西　稲留三千雄（長女直子十五）
三万円　辺川下　中野政治（妻　幸子六二）
三万円　弥　勒　湯川ミノエ（夫千尋七〇）
二万円　端　山　杉木春子（姉ミツエ七一）
五万円　田　中　法元隆男（母　ツギ八三）
三万円　反土黒川　松本友喜（母　重森ケサミツ　九四）
五万円　毘沙門町　濱田精一（父　日吉八五）
二万円　西浦西　石原ハルエ（夫　時義八〇）
五万円　中福良後　池上サチエ（妹利子五九）
三万円　石　野　田中テルカ（夫次郎市八九）
二万円　西浦西　高崎ヒデ子（夫　静男七二）
三万円　中　央　大野ツヤ子（夫　久吉六〇）
三万円　岩原西　瀬戸口一清（母　トヨ八三）

＝町育英奨学資金へ＝

五万円　毘沙門町　濱田精一（父　日吉八五）

▽一月二十日までの御寄付を掲載いたしました。

（年齢は満年齢）

特別寄付

＝町社会福祉協議会へ＝

一万五千円　末吉町　未来ちゃんを守る会

▽「難病などのために役立てば」と一月五日、御寄付をいただきました。未来ちゃんのごめい福をお祈りいたします。

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七－二B－十四
（☎63）3787

中摩多美子　反土二七五六
（☎62）2768

岡山秀樹　錦江町二五三番地二
（☎63）2878

記事訂正とおわび

一月号の記事中誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正いたします。

▽十ページ「国税のことなら税務連絡員へ」の記事中

林敏克さん

（誤）☎六二－六一八一
（正）☎六二－二一八一